



2 年生の SGH 課題研究についてのオリエンテーションを開催しました

2 年生は、昨年度 1 年間かけて課題研究を進めてきました。今年度は、その内容を発展させるもよし、また新たなテーマを設定して取り組むのもよしとして、SGH 推進課の副主任大野先生が課題研究の進め方や論文の書き方について、分かりやすく説明されました。生徒諸君は、資料を見ながら説明を聞き、第 2 学年の課題研究に向けての第一歩を踏み出しました。

(日時) 5 月 7 日 (木) 第 7 限

(内容) 「課題研究の進め方」について



(熱心に耳を傾ける 2 年生)



(熱弁される大野先生)

1 課題研究ってなに？

課題研究には「論証」がある = 課題研究には次の三つの柱がある

⇒①自分で立てた問いに対して、② 1 つの明確な答えを主張し、③その主張を論理的に裏付けるための事実に・理論的に根拠を提示して主張を論証する

⇒だから課題研究の論文の構成は

- (1) タイトル(テーマ)
- (2) はじめに……テーマ設定の理由と仮説
- (3) 本体………仮説の分析と検証
- (4) まとめ………自分の仮説が間違っていたのか、正しかったのか。また、その理由は？

2 課題研究の進め方

(1) まずテーマを絞り込むこと

テーマは「えっ、こんな小さな問題でいいの？」と思うぐらいに絞り込むこと。

(悪い例) 「私とは何か？」……一生かかっても答えが出ない。

「未来のポピュラー音楽は？」……方法も手がかかりも思い浮かばないよね。

「効果的な広告とは何か？」……そんなこと分かったら苦労しないよね。

(2) テーマを決めたらアウトラインを考えること

①アウトラインは常に暫定的なもの ⇒ 研究を進めるうちにアウトラインは変化する。

②アウトラインを作るには、問題を細分化していく ⇒ テーマを分野・ジャンルに分けて小さな問題を多数作る。小問の答えがテーマの解答となるはずである。

(3) 資料収集やデータ分析には十分に時間をかけること

①仮説の分析と検証を進めるためには根拠となる資料やデータが必要 ⇒ 安易に結論づけることのないように、疑問点があれば納得のいくまで追求する。

②根拠のない分析・検証は机上の空論 ⇒ 資料収集やデータ分析が課題研究の成功のカギとなります。

(4) 最後に英訳

①出来上がった論文を最後に英訳、そして英語でプレゼンテーション